

市内で発生した廃棄物を利用した 海津市独自のダンボールコンポストで 生ごみの減量化・堆肥化にチャレンジ!

ダンボールコンポストは名前のとおり、ダンボール箱を利用して生ごみを堆肥化する方法です。

ダンボールは材質や構造的に通気性がよく、生ごみの水分を逃したり、好気性の菌や微生物の繁殖に必要な酸素を通すのに適した性状を持っています。これを利用して、比較的簡単な方法で家庭から出される生ごみを堆肥化し、生ごみの減量化及び有効利用、ごみ焼却量の削減を通じて地球温暖化防止にも寄与し、税金の節約にも効果が期待できます。ぜひ、一度「チャレンジ!」してみてください。



有効利用

地球温暖化防止

ごみ減量

海津市型ダンボールコンポストの特徴

海津市型のダンボールコンポストの特徴は、通常の基材に使用される「ピートモス」と「もみ殻くん炭」を使用せずに代替品として、市内で発生した剪定枝から加工した「剪定枝チップ」と下水道汚泥から製造した「炭化オデイ」を使用したものです。市販されている基材と同等の性状であり、効果も同様に期待されることが実施テストにより確認できました。

これにより、ダンボールコンポストを普及拡大するための基材コストを下げる事が出来ました。また、剪定枝による廃棄物の利用や肥料としても利用されている炭化オデイの有効利用の拡大を図る事にも一躍を担い、資源循環型社会を構築するうえで特徴をもった「ダンボールコンポスト」で低価格、大容量型となっています。

準備する物

ここがポイント!

海津市型ダンボール箱

長さ40cm×幅35cm×高さ35cm
 基材は深さの約2/3で容量約33%
 フタ用、中敷用ダンボールが付いています。



ゴム手袋
 又はシャベル
 (非金属製)

剪定枝チップ

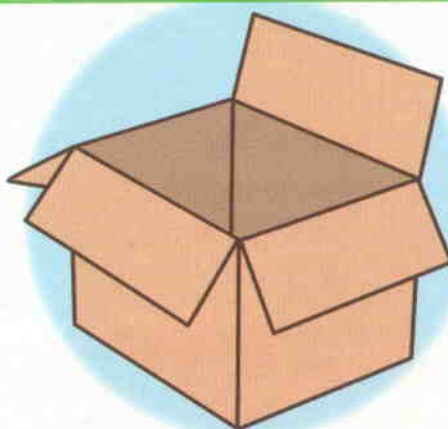
【剪定枝チップ:炭化オデイ
 =3:2の割合】



炭化オデイ

【剪定枝チップ:炭化オデイ
 =20%:13%の割合】

(基材の袋はゴミにせず、ビニラの指定袋として利用してください。)

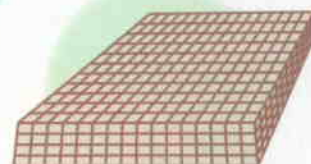


ダンボール箱(みかん箱程度)

【防水加工のしてない二重構造の材質】



温度計
 (温度確認のため
 必要に応じて)



風通しの良い
 網目状の置き台

※ダンボール箱や基材が必要な方は、エコドーム内のリサイクルショップで販売していますのでご利用下さい。但し、剪定枝チップは年間を通して在庫の確保が困難なため、在庫がない場合はホームセンター等で販売(20% 600円程度)している「ピートモス」を利用することも出来ます。

今回のダンボールコンポスト販売価格については、モニター期間とし、使用されて気が付かれたことなどのご意見を頂きながら普及・拡大を図りたいと考えていますので、暫くの間は以下のとおりとします。

(セット価格 ¥500:ダンボール箱 一式 ¥320、剪定枝チップ ¥80、炭化汚泥 ¥100)

ダンボールコンポストの設置

- ダンボール箱に中敷き用ダンボールを敷き、剪定枝チップと炭化オデイ(基材)を入れ良く攪拌します。但し、チップ開封時に嫌な臭いがした場合は、チップのみ箱に入れしばらく乾燥してから始めて下さい。
- ダンボール箱の下に角材やレンガ、ビール瓶ケースなどの裏面を使い床面や壁面から5cm以上離し、通気性を良くする必要があります。



基材を十分に
 混ぜ合わせる



通気性を良くするため
 網目状の台を用意する

生ごみの入れ方

- 中央を少し掘り、水気を切った生ごみを入れて基材をかけて軽く混ぜ込みます。
- 生ごみはなるべく細かくして入れたほうが早く分解して堆肥化します。
- 生ごみは直接ダンボールに触れないように入れます。触れると、生ごみの水分でダンボールがふやけますので、触れないように混ぜます。
- 1日に500～600g（三角コーナー1杯位）処理ができます。
- 1～2週間程たつと好気性の微生物の活動が活発になり、温度が上がってきますが生ごみを入れる前には酸素補給のため必ず十分にかき混ぜてください。混ぜる場合は箱を傷つけないように注意することが重要で、ゴム手袋使用による方法が経験から最良と思われます。



水気を切った生ごみを入れる



生ごみが基材とよく混ざるようにしっかりとかき混ぜる

投入しない方がいいもの

ここがポイント!

- トウモロコシの芯、梅干などの種
- 鶏がらや豚骨など
- 塩分を多く含む物（塩辛、漬物、塩鮭など）
- シジミやアサリ、ハマグリなどの貝殻
- 防腐剤が塗布してあるレモンの皮など
- 水分の異常に多いスイカの皮、タマネギの皮など
- プラスチック類など

管理方法

- 生ごみをいれる前によくかき混ぜて空気中の酸素を十分に入れ、微生物の活動を助けます。
- 防臭、防虫、保温のため、必ずフタをかぶせておきますが、箱は通気性を保つためにビニールなどで覆わないでください。フタはダンボール本体の上部フタを立てた上にかぶせます。
- 生ごみを入れない日でも、1日1回は基材を混ぜて空気を入れてください。
- 温度が上がらない時には、微生物が好物の米ぬか、きな粉（100g程度）、使用済みのてんぷら油を少々入れると温度が上がり、虫の発生抑制にも効果があります。温度の上がり具合と分解の進行具合を温度計により観察できます。
- 魚の内蔵などを多く入れると2～3日間、アンモニア臭がすることがあります。
- 風通しが良く、雨のあたらない場所で管理してください。
- 箱が湿り気でふくらんできたら、1～2日入れるのを中止するか基材を加えるなど工夫をしてください。湿気た箱を無理に曳きつると破損の危険性があります。
- 寒い時期はなるべく暖かい場所で管理してください。

終了時期

- 上手に管理すれば3ヶ月程度使用でき、30～50kgの生ごみが処理できます。
- 基材がべたついてきたり、塊が多くなりサラサラでない状態になれば終了です。

終了後は？

ここがポイント!

生ごみの投入をやめ2～3週間、週に1～2回1割程度の水を入れかき混ぜます。水を加えても温度の上昇がなくなると堆肥として使えますが、土と混ぜ、さらに1～2ヶ月置いて熟成すると良い堆肥ができます。（半年程寝かせるのがベスト）

堆肥の利用

- ダンボールコンポストで出来た堆肥は、鶏糞程度の堆肥効果があります。
- 畑で利用する場合、人参・大根などの根もの野菜には置肥、ほうれんそうなどの葉もの野菜には土にすき込むなどして堆肥として利用します。
- プランターで利用する場合は、土：堆肥＝3：1の配合で利用してください。
- 庭木などにも肥料として利用できますが、どうしても自宅で利用できない方は田畑などの農地や果樹園などを所有されている農家またはご近所の方で利用頂けないかご相談ください。どうしても利用方法がない場合は、環境衛生課にご相談ください。

ダンボール堆肥を作るための必要な3条件

- 1 水分 … 生ゴミの水分
- 2 酸素 … かき混ぜ作業
- 3 栄養 … 生ゴミ



出来上がった堆肥

ECO大作戦 できることからチャレンジしてみよう!

一石三鳥のダンボールコンポスト

一般家庭から出るごみの約4割が生ゴミです。
堆肥化によりごみを減量し、できた堆肥で野菜や
花づくりを楽しむことができ、これが地球温暖化
防止対策にも貢献します。

ごみ減量

生ゴミを堆肥化して 有効利用

地球温暖化防止



【問い合わせ】

海津市役所 環境衛生課 TEL 0584-66-3348
海津市エコドーム TEL 080-1558-1671